

第169回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成23年6月9日(木) 11:00~12:00

2 開催場所 宇都宮グランドホテル会議室

3 委員の出席 委員総数 7人  
出席委員数 6人

(1) 出席委員の氏名 早川 富美子(委員長)  
片山 貴之(副委員長)  
青木 敬信  
古磯 勝子  
島田 恭子  
森内 律子

(2) 欠席委員の氏名 片岡 真理

(3) 放送事業者側出席者 佐藤 望(放送部部长)  
古寺 雄史(放送部主任)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換  
(2) その他  
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

5月5日に放送した「NIKKO WAVE」について、試聴と意見交換を行った。

事業者 この番組は、日光市が、国の雇用対策「緊急雇用基金再生事業」を使い、市のブランドイメージ向上をはかるため提供しているもので、4月から毎週木曜日の午後3時から55分間の生放送をおこなっています。

この番組の制作にあたって、新規に3名の契約社員を採用し、制作ディレクターとミキサーは、共に経験者を起用しています。

内容は、日光市で活躍している市民の紹介、観光スポット紹介、グルメ、日光をイメージした音楽と音のコラボレーションコーナーなどで構成しています。

## 【 番 組 の 試 聴 】

委員：日光市民として、地元を取り上げた番組が出来て、嬉しい。  
こうした番組が繰り返し放送されることで、日光への親密度が上がるのではないか。

委員：選曲が落ち着いていて、心地よく聴けた。

委員：番組全体を通して、内容が魅力あるものにあまり感じられなかった。  
もう少し、聞き手が伝えたいことを整理して、インタビューの相手から話を引き出してほしい。

委員：パーソナリティの池本さんは、声質はよいが、全体的に早口で、しゃべりが前のめりになっていた。言葉をかんで、つまづいた場面が何度もあり、番組を通して、落ち着いて聴くことが出来なかった。  
また、その場の状況を考えての適切な受け答えが、伝え手としては不十分に感じた。

委員：黒後さんのレポートは、一部、違和感を感じるような表現はあったが、言葉で説明しようと努力しようとする姿勢が感じられた。  
また、明るく元気なレポートぶりには、好感が持てる。

委員：ラフティング体験取材のコーナーでは、実際にリポーターが挑戦している場面での生の音があまり放送されておらず、少し物足りない感じもした。

委員：コーナーが盛りだくさんで、番組構成が、全体的に詰め込んでいる感じがあった。

委員：「日光仮面からのお知らせ」は、普通に情報を読んでいるだけだったが、「日光仮面」らしい何か演出面で工夫がほしい。

委員：日光の様々なエリアの情報があつたが、番組としては、まとまりにかけた印象を持った。  
逆に、エリアを絞って、各コーナーのつながりが感じられるような番組構成も、いいのではと感じた。

委員：こういった地域に特化した番組は、地元の人たちからの関心も高いはず。  
しかし、地元の人にとって、広報誌に載っている情報や、既によく知っている場所などの観光情報ばかりでは、物足りなさを感じるはずで、新たなスポットの情報など、改めて興味を感じられるような工夫をしてほしい。

事業者：提供者である日光市とは、定期的に番組の内容について話し合っている。  
市からの要望・提案もあり、それを加味した上で、今後も取材内容の充実を  
図っていきたい。

(以上)

(2) その他  
なし

(3) 次回開催日程について  
次回の開催を7月7日(木)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日  
なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日  
(1) 放送 6月26日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内  
(2) 書面 本社事務所に備え置き  
(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項  
なし